第2章 心の遊び場

若林美希さん（宇山）は、来島に新しくできる図書館（飯南町立中央図書館）の司書。頓原小学校で11年間、司書を務めました。この日の朝は、さつき保育所で絵本の読み聞かせです。子どもたちとの楽しい時間。今日は3冊の絵本を一緒に楽しみました。

子どもの元気な1日の始まりに

「『子どもたちと同じ場所で、同じ時間を共有する』。これが読み聞かせの一番の目的。だから、賢くなるために、道徳的なことを教えるために、じゃなくていいんです。私自身3人の子どもを育てましたが、親の立場になるとどうしても『この本を読めばこの子のためになる』って思っちゃって。でも本当は違うんですよね。そんな経験もあるから選ぶ絵本は、どちらかと言うと楽しい話。子どもたちが楽しく1日を始められたらいいですよね」

聞いた話は同じでも、描く物語は人それぞれ

「飯南町の子どもたちにはいつも驚かされます。本当によく話を聞ける子が多い。今日は読み手と聞き手でやりとりができるクイズ形式の絵本を読みました。正直、3冊も読めるなんて思っていませんでした。

読み聞かせにはいろんなやり方があるのですが、わざと絵を見せないで、読むだけってことも。これをすると、子どもたちは頭の中で情景を描き始めます。

今は映像に触れることが多い世の中だから、話を聞いて想像する力を育ててあげたい。本には、想像の世界で心を遊ばせてくれる力が宿っています」

これからの図書館を一緒に描きたい

11年間、図書館司書を続けてきた若林さん。それには理由がありました。「読み聞かせもそうですが、子どもたちが私のお勧めした本を読んでくれるのが嬉しくて。だからこれからもいろんな人に、いろんな本を紹介したいです。

一般的に『図書館は本を借りる場所』という印象があるかもしれませんが、最近はそれだけじゃありません。例えば、文化事業をやってみたり、ノンアルコールカクテルパーティーをやってみたり、外に出かけて本を紹介してみたりする図書館も。いろんな仕掛けができるのが図書館なんです。

だから、どんなことでもいいから声をかけてほしいし、私たちもその声に応えていきたいです。もちろん本のリクエストもお待ちしています」

想像の世界で心を遊ばせてくれる本。そんな本が図書館にはたくさんあります。本が苦手でも大丈夫。これから図書館の物語を描くのは、図書館を訪れる私たちです。私と本。そして図書館。そんな物語のはじまりはじまり。

ボランティア希望の会を開催

図書館づくりボランティアを募集します。

本の整理整頓や読み聞かせ、郷土資料の活用、装飾・環境美化などに興味がある人は、気軽にお越しください。

●**日時** 10月19日(月)13時30分～15時
●**会場** 飯南町立中央図書館

■問合せ　教育委員会76・3944(10月末まで)

11月7日から貸し出し開始

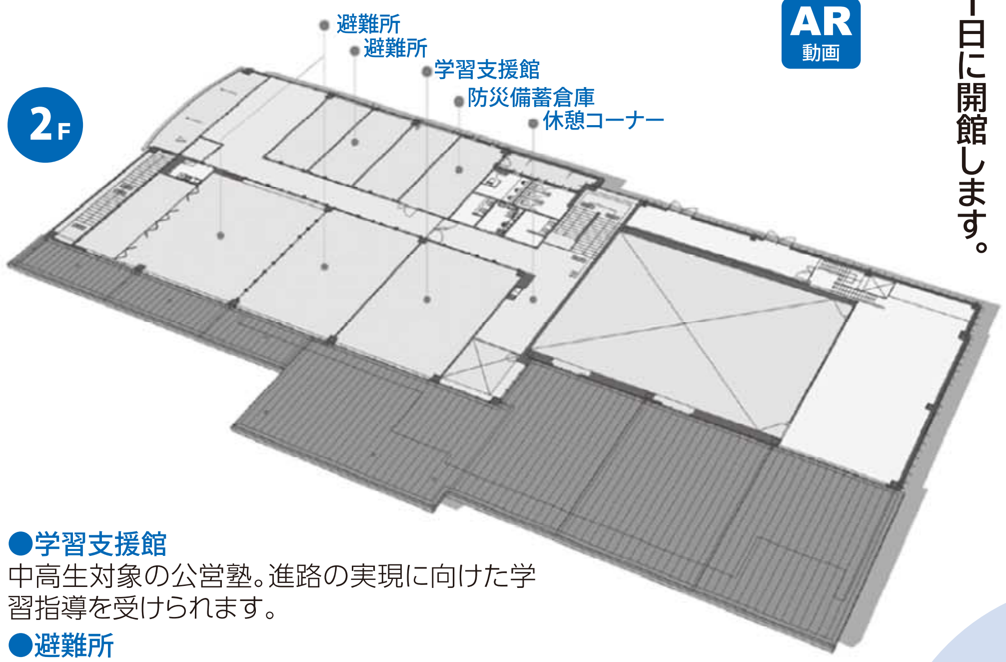
※頓原図書館は開館時間と休館日が変更します。

	中央図書館	頓原図書館
開館時間	【土曜日、日曜日】9時～17時 【その他の曜日】10時～18時	10時～18時
休館日	火曜日・祝日	土曜日・日曜日
その他	10月1日(木)から館内見学、利用者カード申込が可能 (貸出は11月7日から) ※土曜日・日曜日は休館	10月1日(木)～11月8日(日) 臨時休館

第3章 みんなの広場

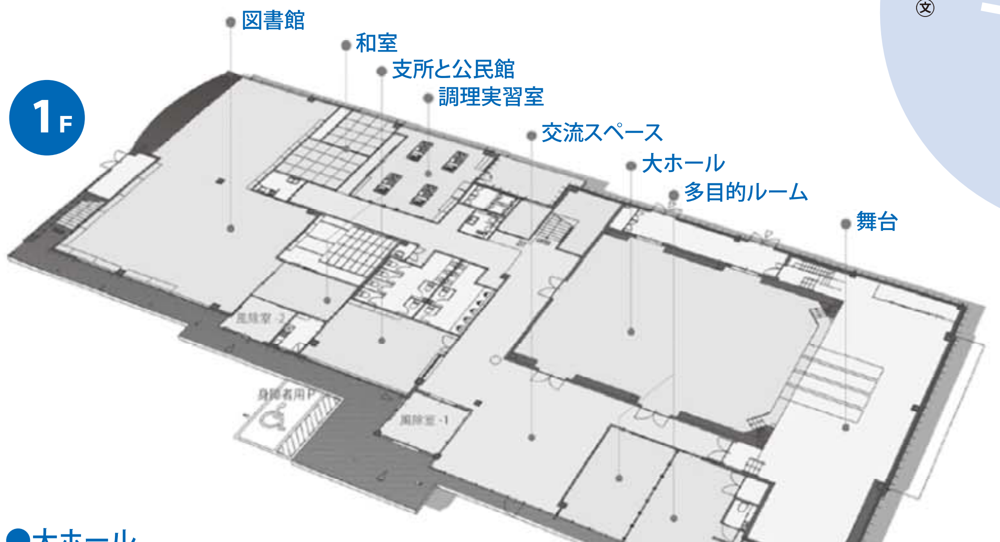
飯南町立中央図書館があるのは、飯南町来島拠点複合施設（愛称：みんなの広場　来島交流センター）の1階部分。図書館のほかに、大ホールや交流スペース、学習支援館などが設けられています。災害時には避難所の役割も担う。こんな施設が10月1日に開館します。

AR 動画



●**学習支援館**
中高生対象の公営塾。進路の実現に向けた学習指導を受けられます。

●**避難所**
災害時に使える避難所。停電時にも安心の設備。防災関連の研修や学習に使えます。



●**大ホール**
本格的な音響と照明を備えた大きなホール。演劇や演奏会などを開催できます。

●**交流スペース**
誰もが気軽に立ち寄れる空間。友達とのカフェスペース、キッズスペースとして使えます。

●**支所と公民館**
住民票の発行や戸籍の手続きができます。公民館職員や集落支援員もいます。

■問合せ
住民課76・2213
教育委員会76・3944(学習支援館)

AR動画の視聴方法

AR 動画
ARマーク

飯南町HP QRコード

広報いーなんでは、ＡＲ（拡張現実）動画を導入しています。詳しい視聴方法は、飯南町ホームページで紹介しています。